

神戸市の動き（新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会の検討状況）

神戸市では三宮周辺地区の再整備の一環として、新神戸文化ホールの整備を検討しています。

（平成 30 年 8 月 22 日第 3 回新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会資料より抜粋）

(1) 新・神戸文化ホールが目指す機能・役割

- ① 市民の誇りとなる、神戸らしい芸術文化の発信
  - ② 市民主体の芸術文化活動の促進、更なる高度化の支援
  - ③ 芸術文化を担う創造的人材の育成
  - ④ 多様な人材が交流し、まちのにぎわいを生み出す空間と経済波及効果の創出
  - ⑤ 神戸の個性を発揮することによる「選ばれるまち」の実現
  - ⑥ 芸術文化の普及啓発拠点として誰もが芸術文化に触れる機会を提供

(2) 施設計画

基本性能の整理

新・神戸文化ホールの整備と中央区の新たな文化施設のホール機能の整備を同時に進めることで効率的・効果的な文化施設の整備を進めていきます。

バスターミナル内に大ホールと中央区の新たな文化施設のホール機能を整備することで、国際コンクールや全国大会等にも対応できるようにします。

また、それぞれのホールが複合施設に整備されることから、他の施設計画と調整しながら、それぞれに十分な搬入動線を確保していきます。

ア 新・神戸文化ホールとして整備する機能

(ア) 大ホール機能

- ・客席数 1,500 席以上
- ・プロセニウム形式を基本とする舞台
- ・奈落（床機構設備については別途検討）
- ・可動型音響反射板を備え、生音を活かした音楽利用から舞台芸術、集会利用にも対応
- ・前舞台としても活用できるオーケストラピット
- ・多層バルコニー客席

(イ) 中ホール機能

- ・客席数 700 席～900 席程度
- ・音楽専用ホール
- ・多層バルコニー客席

イ 中央区の新たな文化施設として整備するホール機能

- ・客席数 500 席程度
- ・プロセニウム形式を基本とする舞台
- ・奈落（床機構設備については別途検討）
- ・可動型音響反射板を備え、生音を活かした音楽利用から舞台芸術、集会利用にも対応

ウ ホールに共通した楽屋機能

- ・出演者がリラックスできるような空間
- ・ホールとの導線

エ その他に新・神戸文化ホールとして整備が求められる機能

(ア) 創造支援機能

- ・リハーサル室、練習室の充実及び各ホール等と連携した柔軟な運用
- ・先進事例を踏まえ、リハーサル室、練習室のうち、必要に応じて小規模公演などが行える仕様を検討する
- ・リハーサル室、練習室などの活動を支える諸室（楽器庫、譜面庫、大道具製作室、衣裳室など）
- ・創造支援活動を支える専門スタッフの控室、打合せ室、更衣室など
- ・自主事業の創造に優先的に利用できる大型練習室の確保
- ・利用団体・個人が相互に交流できる交流サロン

(イ) 交流機能

- ・情報ラウンジ（併設予定の図書館との連携も検討）
- ・飲食ラウンジ
- ・交流ロビー・ホワイエなど

(ウ) 管理機能

- ・事務室、応接室、打合せ室、倉庫等
- ・警備員室
- ・機械室 など